



エルチ・イニシアティブ (ERCH Initiative)



～活力ある経済のための日・モンゴル協カイニシアティブ～

骨 子

1 投資・ビジネス環境の整備

- 日・モ 経済連携協定 (EPA)
- 日・モ 官民合同協議会
- ジャパン・ビジネス・フェア in モンゴル

2 モンゴルの持続可能な経済発展への協力

- (1) 環境
- (2) 人材育成
- (3) 基盤整備・開発

1 投資・ビジネス環境の整備

- 2013年4月2～5日、「日・モンゴル経済連携協定 (EPA)」の第3回交渉会合をウランバートルで実施。早期妥結に向け、精力的に交渉。
- 2013年5月3日、官民で貿易・投資、資源開発等の促進を協議する対話枠組みである「日・モンゴル貿易投資・鉱物資源官民合同協議会」第6回会合をウランバートルで開催。民側議長としてのモンゴル商工会議所の参加を期待、また、具体的プロジェクトの議論等、本協議会の拡充を図ることで一致。
- 2013年5月3～4日、JETROは、モンゴル商工会議所の協力の下、ウランバートルにおいて、「ジャパン・ビジネス・フェア in モンゴル」を初めて開催。

2 モンゴルの持続可能な経済発展への協力

(1) 環境

- モンゴル最大の発電容量（580MW）を有する「**第4火力発電所**」の関連設備を新設又は更新し、発電効率の向上及び電力供給の安定化を図るため、約42億円の円借款供与を決定（有償資金協力）
- 2013年1月8日に日本とモンゴルが署名した**二国間オフセット・クレジット制度**につき、4月11日、両国政府から成る合同委員会を開催し、実施に係る規程類を整備して本格的な運用を開始し、プロジェクトの具体化を図る。
- ウランバートルの幹線道路網を形成し、交通渋滞の緩和を通じた都市環境の改善を図る「**アシルチン跨線橋**」（取付道路含め全長2250m）の建設につき、事前調査に基づき具体的協力内容を検討中（有償資金協力）
- ウランバートル市の総合的な都市公共交通ネットワークの改善を図る地下鉄（**ウランバートル・メトロ**）の建設に向け、協力準備調査を実施中（官民連携インフラ事業）
- ウランバートル市内の大気汚染対策（汚染物質の測定、車の排ガス規制等）への追加的な技術協力の実施を決定。
- 以上のような大気汚染対策にも資する協力に加え、二国間政策対話等による協力により、モンゴルの大気汚染改善に貢献する。さらに、アジアの大気汚染対策にも積極的に貢献する。

(2) 人材育成

- **工学系高等教育機関**の機能強化と日本への留学を通じて、モンゴルの産業人材の育成を行うべく、近く事前調査を開始（有償資金協力）
- 医療人材育成の環境整備のため、教育病院としての機能を有する**日本モンゴル教育病院**を建設する（無償資金協力）とともに、地域医療に従事する医療人材を育成し、医療サービスの質を向上（技術協力）すべく、近く事前調査を開始。

(3) 基盤整備・開発

- 日本の優れた技術やノウハウを活用した**新空港**をウランバートル市郊外に建設し、国際空港としての利便性の向上を図るとともに、最新の空港保安システムを導入し、航空輸送の信頼性・安全性を向上するため、追加的な借款を供与する用意がある旨表明（有償資金協力）。
- モンゴル企業による日本からの機器（鉱物資源開発用の建機等）及び役務の購入を用途とする**J B I C輸出クレジットライン**の設定に向け、モンゴル側の必要な手続きの加速化を期待。
- 年間200万トンの生産規模を誇る**ダルハン市の製油所建設**に対するJ B I Cと民間による協調融資に向け、モンゴル側の必要な手続きの加速化を期待。
- 昨年3月の首脳間の合意に基づき、**タバン・トルゴイ炭田開発計画**において、モンゴル側が、日本の参画を確保するという政策をとることを期待。
- モンゴル側は、**通信衛星**及び**地球観測衛星**の打ち上げに関心を有しており、今後、日本製衛星を活用する共同プロジェクトに係る覚書（MOU）締結に向けて調整。